

第29回京都木津川マラソン大会



今年のテーマ「東北震災復興支援」を中心に取り組む

義援金募金とランナーの繋がりをつくるサインボード



6000人の受付を担当する「マラソンの坪」の方々



沢山の皆さんのサインが集まりました



心を繋ごうと山陰されるランナー



太鼓サークル「萌」の皆さん



監察係り「聴覚障害者」の皆さん



コース監視の無線クラブの皆さん



一休寺景観保存NPOの皆さんと和尚さん



無事故・乾燥を目指して
河合先生の準備体操



準備体操を熱心に取り組んだので、完全無事故、すり傷一つ発生しませんでした。



チップ改修を受持つ決勝係



だんだんほぐれてきました



一休寺背景を守るうと和尚さんといっしょに一生懸命にチラシを配る皆さん



受付で忙しいトラ物コーナー



トイレの前も整然と順番を待つランナー



受付前に大集合ですが、マナーが良くスムーズです。



これだけ多くの方が雑沓のように見えますが、混乱なくスムーズ処理が進みます



観覧席から応援するみなさん



球場が広くアップするにはもってこいの会場



それぞれが勝手に走っておられるが自然に方向が一致します



フルの往路とハーフの復路のピークがゆき違うポイント風景 もっとも混乱すると思われる20km手前付近の状況



前々日には、寒波で全国で大雪が降りました。比叡山の後ろの真っ白な蓬莱さん(滋賀県琵琶湖)が姿を見せました



作業委所のみなさん等模擬店が沢山出店して楽しい場面にぎわいました。



市政15周年記念切手の販売をする局長さん



観察中最も込み合った場面でした。



連タコが217揚がりました。



焚き火も本大会の和やかさを醸し出しています



好天の堤防 4915人疾走

木津川マラソン 被災4県から12人



家族からの声援を受けて堤防を駆け抜ける木津川マラソン参加者（京田辺市草内）

第29回京都木津川マラソンが5日、京田辺市の草内木津川運動公園を発着点に行われた。寒さも緩み、好天の中、4915人のラ

ンナーが木津川沿いの堤防を駆け抜けた。市民などでつくる大会実行委員会（山村武正委員長）が主催し、「制限時間のない大会

として人気が高い。今年、フルマラソンのほかハーフ、5キロ、3キロなど計14部門に全国各地の小学生も90歳が参加。エントリーは過去最多の5966人になった。

大会には、東日本大地震で被災した4県から12人が参加し、開会式では仙台市から参加した内田英一さん（60）が選手宣誓。順にスタートしたランナーは、家族から「頑張って」などの声援を受け、仲間と励まし合いながらゴールを目指した。

（笹井勇佑）

主な優勝者は次の皆さん。

【フルマラソン】男子・西澤誠二（高島市）▽女子・桑原絵理（福島県郡山市）【ハーフ】男子・橋本猛志（京都市）▽女子・稲垣水美（奈良県香芝市）